

建築士

# おおた

春季号

2012 NO 110



社団法人 大分県建築士会

# CONTENTS

1. 特集 青年の集いに参加して～福島～	宇佐支部	佐藤 一郎
4. 女性部会のPage		中道 了子
6. 鮎美ママのハッピーエッセイ	大分支部	高山 鮎美
8. 旅紀行エッセイ 「蔵のある風景とその暮らし」	宇佐支部	渡辺 賢一 椀田 康一
12. パッションイン熊本参加報告	大分支部	森本 秀春
14. インフォメーション(支部便り)	臼杵支部 佐伯支部 高田支部	三重野元良 長田 孝治 後藤 憲二
17. 会員紹介	中津支部 日田支部 別府支部 臼杵支部	畑中 聡子 佐藤 幸司 石川 直也 木村 純考
19. マイワーク	大分支部 佐伯支部 中津支部 玖珠支部	山崎 満 長田 孝治 DAN一級建築事務所 瀧石 雅一
21. マイベストブック	三重支部 竹田支部 高田支部	佐藤 勤也 木歩士貴子 後藤 憲二
23. おおいた建物発掘隊	高田支部	後藤 憲二
25. ぐるめ探訪	津久見支部 別府支部 高田支部	大村 正壽 須藤 祐未 後藤 憲二
28. 事務局だより	大分県建築士会事務局	

## ■ 表紙画説明 ■

表紙の写真は、豊後高田市草地の三笠山春日神社の拝殿です。  
参道から神門をくぐると正面に見えます。  
詳しくは、おおいた建物発掘隊をご参照ください。

## 青年の集い

# ～大震災における建築士の役割～ に参加して

宇佐支部 佐藤 一郎

昨年の11月12日福島県郡山ビューホテルアネックスにて行われた福島県建築士会青年委員会主催の『青年の集い in 福島』に参加してきました。



本大会は『大震災における建築士の役割』をテーマに掲げ、2011.3.11に発生した東日本大震災に関する報告事項に特化した大会内容でした。大分県建築士会青年部からは6人が参加してきました。



報告内容は以下の通りです。

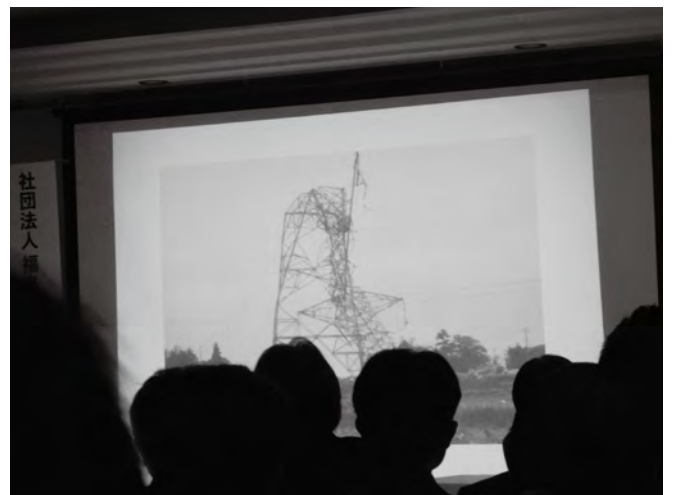
### 1) 応急危険度判定活動について

福島県土木部南会津建設事務所  
建設住宅部長 村井 弘道氏

福島県及び福島県建築士会は、H19年度から実物の建築物を用いた判定模擬訓練を年1回実施し、判定技術の向上に努めてきたそうです。その努力が今回の応急危険度判定活動の、円滑な実施につながったという点は重要であると感じました。又、自

身が被災されているという大変な状況の中で活動された判定士の方もいました。

今後の課題・意見等として、現地で携帯電話が非常に繋がりにくく、活動中の判定士等との連絡が困難であった事から、アマチュア無線や防災無線など携帯電話に頼らない連絡手段の整備の必要性や、自治体の十分な説明がなかったため、一部の住民に混乱が生じた等、実際に体験しないとわからない貴重なお話が聞けました。



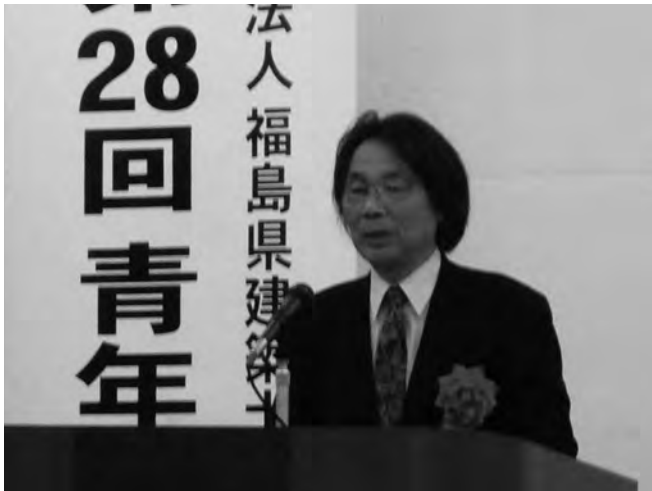
### 2) 仮設住宅の建設について

福島県建築士会 相馬支部  
玉川 敬氏

仮設住宅の建設については、プレハブの仮設だけでは供給が追いつかず、急拠地元工務店の手により設置された木造仮設住宅の現状や今後の課題について、工事の写真などを参考に御説明頂きました。放射能の影響による土地改良や、1ヶ月間で施工を完了する為に施工手順を変更するなど現場でのいろいろな工夫についてお話がありました。

木造仮設住宅に関して様々な思いや考え方等があつて福島に建設された仮設住宅はとてもバリエー

ションがある事、それをどのように今後に生かそうとしているのかと言ったことの話が聞けた事は、本当に勉強になりました。



### 3) 応急仮設住宅の現況について

富岡町役場 災害対策本部住宅支援班班長  
阿久津 守雄氏

応急仮設住宅については、立地場所の問題点を挙げられて、便利な場所は無く使われておらず、不便な場所しかないのが現状だそうです。又、建設に携わった業者が、より住みやすいようにとの思いから、後から建てる住宅ほど仕様を良くしていったのが原因で初期の仮設住宅に入居した住民から役場に不満の声が寄せられていて、大変困ったそうです。

その心遣いは有り難いが、本当は同じ仕様のものを提供したいと思っているとのことでした。

### 4) 罹災証明調査業務について

福島県建築士会 いわき支部  
大森 仁氏

罹災証明調査業務は、被災建物を損壊の程度によって「一部損壊」「半壊」「大規模半壊」「全壊」の4段階に診断し、罹災証明書に記載します。調査を実施した、大森 仁氏によると一部半壊と半壊の支援の差が大きすぎる点、判定基準が亀裂・脱落が基本なので仕上げ材の仕様で、判定結果が大きく違って来る点に、問題があると感じたようです。また被災している建物に、応急危険度判定や地震保険鑑定など、何度も調査に来るので「また来たか！」と勘違いされる方が多く居たことを考えると、これらの業務を統一出来ないのか等の検討が必要ではないのかと言われました。

そして被災された建物に調査に行くと、「修繕してくれる業者知らない?」「まだ住む事が出来る



の?」「金銭的なこと?」など相談される方が多くいて、これからの建築士の役割としては技術的な相談はもちろんですが、精神的・金銭的な相談にも乗ってあげられるスキルが必要だと感じたそうです。

### 5) 地域防災と建築士の活動について

福島県建築士会 双葉支部  
鹿股 巨氏

双葉町は福島第一原子力発電所が立地している場所で人口7千人の町です。

双葉支部の鹿股さんは地元の消防団に入っており、震災後家族と一緒に避難することが出来ずに5日間地域活動をされてから、家族と再会しました。一番つらかったことは電話が繋がらないことだったそうです。

建築士会の仲間は震災後、この集いで今日初めて会う方が多く、この光が見えない状況のなかで建築士としての活動をしている仲間を誇りに思うとお話をされてました。

また「なみえ焼きそば」を作った人は、双葉支部のメンバーで昨年開催された第6回「B-1グランプリ」では4位になったそうです。

## 6) 復興住宅について

福島県土木部 次長  
佐々木 孝男氏

福島県は人口200万人、今回の東日本大震災では死傷者・行方不明者2,000人、20万棟を超える建築物が被災しました。仮設住宅として3万5千戸を供給目標に掲げ、その内訳は、応急仮設住宅16,000戸、公営住宅1,000戸、民間賃貸住宅借り上げ1,800戸としており、地元の設計事務所及び工務店と共に地元の資材を使用して進めたいということでした。

「福島県復興ビジョン」復旧・復興の取り組みとして下記3点挙げています。

- 応急仮設住宅等に関する環境改善研究会の開催
- 公共建築物等に係る復旧・復興技術連絡会の開催
- 復興住宅供給促進のための支援

次のステップに進むためにも、検証作業が大事であり、行政と民間団体の連携が今後も必要だと熱くお話し頂きました。



発表についてはそれぞれ決められた配分はあったようですが、「伝えたい」という感情が大きかったのか、それぞれの発表時間が大幅に伸び、予定していたプログラムが実施出来ないというハプニングもありましたが、これも強い思いの反動の現われであると思います。実によくわかりました。

もしも、大分にこのような地震が起きたらどうなのか、適切な対応ができるのか、など自分たちに置き換えて考えることが出来ました。

今回このような貴重な経験をさせていただき、企画して頂いた福島県建築士会及び関係者の方々にとっても感謝したいと思います。

最後になりますが、今回の参加者はそれぞれに感

じるものがあつた福島での集いだったと思います。この経験を建築士として今後へ有効に活かしていきたいと思っています。



# 女性部会のPage ページ

## 《平成23年度全国女性建築士連絡協議会京都大会報告》

京都で考える ～日本のまちと暮らし～

平成24年2月17日(金) 13:00～18:15

2月18日(土) 8:30～16:30

開会式の後

### ■『東日本大震災の現状報告 仮設住宅の現状と課題』



岩手、宮城、福島各県の建築士会女性部会からの報告がありました。仮設住宅については初期に建てられた早さ最優先、資材不足という状況の中で大量供給を担ったわけです。しかし隙間や雨漏り、鉄骨部分の熱橋による結露など問題も多くあり、寒冷地における断熱性能の不足は大問題で、後から改善工事が行われたものの、決して十分とは言えなかったと。その後無垢材仕上げやロフトの設置など様々な工夫もされ、ある程度断熱性能も備え、地元工務店が中心となって建設を進め地域の雇用確保や地域材の活用などの効果も生まれたようです。

また、福島では木造の『板倉工法』の仮設住宅。これは福島県が不足分を公募で建設したうちのひとつで、軒は深く、サッシはペアガラス、小屋裏を利用したロフト付で県産材を使った自然素材の仮設住宅、高齢者や身体の不自由な方はそこへ優先的に入居できるようになっています。多くは家族や財産を失い、深い痛みを抱えている。そして仮設での暮らしはというと、とにかく狭い、生活音が筒抜け、買い物や通院が不便。新しい隣人と話すこともない・・・たくさん我慢を強いられている。仮設使用の長期化も予想される中、少しでも気持ちよく生活してもらえよう、息の長いサポートが必要です。

### ■ 基調講演

『京都の景観から考える地域のまちづくり』

京都大学大学院工学研究科教授 高田光雄先生の講演です。京都は特に景観問題がまちづくりの最重要課題として議論されてきました。

- 京都市都市計画局では景観政策の進化の4本柱として
- ・市民とともに創造する景観づくりに関する仕組みの整備
  - ・デザイン基準の更なる充実
  - ・優れた建築計画の誘導
  - ・申請手続きの見直し、基準の明文化

に取り組んでいます。歴史の中で育まれた京都だからこそその問題。建てる人、それに住む人、それが景観を損なうと思う人。様々な考え、思いがあるが皆がひとつになることは・・・ムズカシイですね。

### ■2/18 フィールドワーク (FW)

例年では8つの分科会のテーマに合わせて話し合いや討論があるのですが、今回は京都のまちなかを歩きその後分科会にてFWで体感したことをそれぞれのテーマに沿って考察するというもの。

A-1：秦家と修徳学区 A-2：伏見 A-3：京都駅周辺  
B：大山崎 C：堀川東・・・と12コースの中、私は京都駅周辺（景観論争の歴史と未来）に参加。これが良かった！幸か不幸かこの日は雪の京都。まずは京都駅ビル。1990年代国際コンペにより採用され、古都の景観を著しく破壊しているのでは・・・と、激しい反対運動のあった建物。屋上に上がり京都の町並みを見るはずが、雪で立ち入り禁止。



で次の目的地渉成園（しょうせいえん）へ

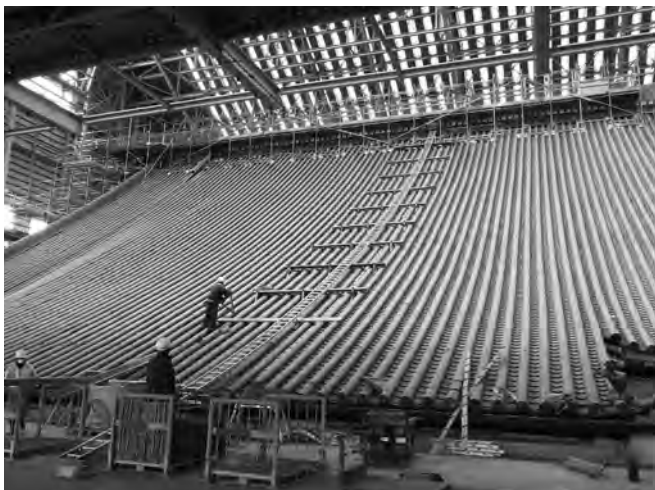
近景デザイン保全地区に指定されていて、庭園から500mの区域においては眺めを阻害してはならないという建築物や工作物のデザイン基準を定めています。



このあと東本願寺へ。

2009年御影堂（ごえいどう）の修復が完了し現在阿弥陀堂の修復工事が進められています。

御影堂には宗祖・親鸞聖人の御真影を、阿弥陀堂にはご本尊の阿弥陀如来を安置していて、修復工事の間阿弥陀如来は御影堂の一部に設けられた仮阿弥陀堂にて儀式お給仕が執り行われています。



御影堂門（2013年1月修復）にあがり、本廟内で最も古い建物、大寝殿で竹内栖鳳の障壁画元は御所に建てられた宮御殿。

白書院・能舞台の幸野樗嶺の松の絵。

桜下亭の円山応挙の襖絵。

…と、たっぷり普段非公開の諸殿を見学しました。

このあと分科会にて、テーマである【景観まちづくり】について各グループからの意見交換があり、その後全体会にてFWの報告が行われ無事に大会が終了しました。



#### ■全建女

今回の全建女、すべて今までとは違う大会となりました。昨年8月開催予定だった大阪全国大会が中止となり、7月開催の全建女京都大会も中止の方向でしたが、連合会の「このような非常時だからこそ、日常の生活が大事、生活の場があるコミュニティが大事」の言葉で京都大会は延期開催されることになりました。開催県の京都建築士会は近隣県として阪神淡路大震を経験しています。今だからこそ、元気な関西から建築士として全国へ向けて発信することが出来るはずという思いが、大会の開催を成功させたのだと思います。

今回の大会がひとつの区切りで、今後は開催が隔年となります。次回開催は平成25年予定です。これについては様々な意見があったようですが予算等の問題で決定したようです。今年開催の建築士会全国大会『いばらぎ大会では女性部会も何らかの形で参加するようです。』



（大分支部：中道 了子）



# 鮎美ママのハッピーエッセイ

★第5回★

大支部 高山 鮎美



皆様、大変ご無沙汰致しております。前回号から1年半ほど経ち・・・我が家では沢山の出来事があり、子供達も見違えるほどに成長しました。その姿や様々な出来事を少しでも多く、分かりやすくお伝えしたいので、今回も写真を沢山載せ、この1年半をダイジェストでお送りしたいと思います。

## 〈2010年秋〉

ついに保育園に通い始めました。認可保育園は2年以上待っても入れず、年長を迎える長女の為に、思い切って認可外保育園へ入園させました。保育園選びはとても迷いましたが、少人数で縦割り保育をしている点、何より先生方や園児達の印象で決定！



毎日お弁当持参で大変でしたが、思っていたよりすぐに溶け込め、お友達も出来、毎日楽しそうで、保育園に行かせて良かったと思いました。



## 〈2011年春〉

倅音5歳・心音2歳、シャボン玉に大はしゃぎです。



## 〈2011年初夏〉

この頃・・・3年待って、やっと認可保育園に入る事が出来、少しだけ、夫婦だけで過ごす時間も出来、念願だった主人とのバイクツーリングへ出かけました！長女を妊娠する直前に免許を取り、それ以来6年間、完全なペーパードライバーだった私・・・にも関わらず、いきなり熊本の観音峰（バイカーの聖地！？）まで走らされ、帰り着いたところで主人から、「これだけ走れば怖いものなしやろ？」と一言。超スパルタ主人が一番怖かった・・・(@\_@) 無事帰れてよかったです(^ ^) ;

## 〈2011年夏〉

念願だったテオ・ヤンセン展に友達と行ってきました。デモンストレーションには圧倒され、テレビで見ていたものが目の前にあることに興奮しましたが・・・^^ ;



そして、暑い夏にはやっぱりこれでしょう・・・と、二人とも豪快な食べっぷりですv ^^ v





### 〈2011年秋〉

初めての運動会☆長女の走りは、かな〜りマイペースでしたが、踊りは素晴らしかった！「一人だけ・・・どんだけ足上がるの？」というくらいピンと伸ばし、リズム感も完璧♪意外な一面を発見しました☆^^☆

次女は、相変わらず可愛い動きで微笑ましかったです\*^^\*しっかり踊って、走って、成長を感じました。



そして、いつも仲良しで真似っ子のふたり♪



何かと変顔で笑わせてくれる次女。そんなことばかりしていると、素も変な顔になっちゃうよ・・・やめてえ〜^^;

### 〈2012年冬〉

住宅の完成見学会に行くと、必ず物入に入りたくなる子供達。階段下収納も、子供達にとっては楽しい空間のようです。ほんと、子供は遊びの天才ですね☆



### 〈2012年3月3日〉

1年の締めくくりの生活発表会♪

歌や合奏、英語教室の様子、オペレッタ・・・と盛り沢山で、とても楽しい時間でした。どれも完成度が高く、成長に感動！感動！！感動!!!でした。2人とも、保育園に通うようになって、変な事も沢山覚えましたが^^;とても遅くなりました。長女は春から小学生・・・またお友達が沢山出来ますように☆



### 〈私の新しい趣味&おまけ〉

たま〜に、細かい作業に没頭してみるのもいいですね。これは、紋切りという切絵ですが、ハマります^^♪



最後に・・・相変わらず、変な寝方で笑わせてくれます^^;一体、どんな夢を見ているのでしょうかね。

乞ご期待です☆☆☆



# 蔵のある風景とその暮らし 喜多方編

宇佐支部 渡邊 賢一

縁とはおもしろいもので、私の尊敬するK氏の母校であるN大工学部建築学科に、ウチの息子が進学することになった。学舎は福島県の郡山にあり、下宿先を決めるために3月上旬、息子と二人で出向いた。

「たぶんもう2度とここに来ることは無いだろう」と、とっとと帰って来たのだが、その1ヶ月ほど後におやおやまた訪れることになった。K氏に「いっしょに郡山に行こうや!」と誘われたのである。

「石川鷹彦のライブチケットが手に入ったキ」



「??・・・?」なんてまた石川さん観にわざわざ東北まで行くんだろう・・・?

K氏は私が6年努めた建築士会青年部長を、私のひとつ前に10年努めた士会の功労者である。周りには彼を慕う後輩がたくさんいて、私もその一人である。

仕事に興味にボランティアに一生懸命で、そして他人への気遣いを忘れない、見習う所の多い人である。

ギターを弾かない私でも、フォークの神様石川鷹彦氏ぐらいは知っている。・・・でも?

兎に角、4月の23～25日、仕事をブッチぎって私たちは郡山に行ってきた。

東北といっても福島は関東のお隣だからかこの日の気候はこちらとあまり違わなかった。

時折吹いてくる風が、昼食に飲んだビールでほてった顔に当たって気持ちよかった。

N大の正門から本館までの長いアプローチは桜が満開で、まるで私たちを歓迎するかのように素敵なフラワーアーチをつくっていた。

「M教授に会う」ために我々はまず研究室のある45館2階を目指して歩いた。

M教授はK氏が当時師事した先生だが、今も現役



バリバリなのである。ウチの息子の名前も教授の出欠簿のなかにあった。

少し酒臭いことを気にしながら、それでも当時の話になると大きな声で笑い、私も相槌を打った。「教授の自宅で5人で焼肉を14kg喰った」それはすごい!

後でK氏に尋ねると、肉はマトンで、量は1.4kgだったことが判明した。

研究室を後にして、息子と合流すべく、彼の下宿へ。大家さんに挨拶をして土産を渡してからK氏が学生当時交流のあった方々と合流。

そのまま居酒屋で懇親を深めた後、ライブの喫茶「音蔵」へ。



2～3曲ずつかわりばんこに歌う輪のなかにないつの間にか私たちも入っていた。

郡山から左手に猪苗代湖を見ながら北北西に向かうと、1時間と少しで喜多方に着く。折角だから「蔵のある風景とその暮らし」と題して調査に行こう、ということになった。

ホテルのバイキングでたっぷり朝食をとった後、電車で揺られること約90分。郡山から会津若松を経て、一路喜多方へ。



昨夜の酒が未だ残っていたおかげで（笑）、移動時間はスリーピングタイムに充てられた。

蔵のまち喜多方は、会津の「北方」に位置していることから、その名がついたという。



駅前のメインストリートは、歩道が拡張され、通りが見やすく、観光客にとっても親切である。

パンフレットを広げてみると「蔵のまち喜多方～」と銘打ったイベントが四季それぞれに開かれており、観光やまちおこしに力を入れていることがよくわかる。我々が訪れたこの時期には「蔵のまち桜ウォーク」が予定されていたが、名物日中線記念自転車歩行者道のしだれ桜は、未だ2～3部咲きであった。残念！



蔵とまち、そしてそこに住まう人々の生活とその成り立ちについて調べることにした我々は、まず資料館を探した。

まちの南方に「喜多方蔵の里」があり、そこには、昔ながらの暮らしぶりを再現した蔵や、曲り家とよ

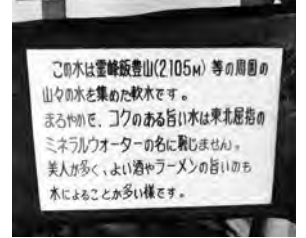


ばれるうま屋を取り込んだ、かや葺き屋根の、土間と座敷が半々の住居などが、移築されていた。

蔵は、土産品店や歴史資料館として利用されていた。この日、客はまばらで、背合わせの売店と資料館のキップもぎりのおばちゃんは、一人で十分だった。

若松城下と米沢を結ぶ街道の町として栄えた喜多方は、物資を蓄えるための蔵や漆器蔵、酒造蔵など、多くの蔵が建てられた。

また、この町は、「水」のまちといっても過言ではない。霊峰飯豊山より流れくる伏流水により、味噌、しょう油、酒といった醸造業を盛んにし、何ととっても「ラーメン」は名物のひとつとして欠かすことはできない。



さて「蔵」である。

そもそも蔵は保存性に優れ、冷蔵庫、保湿庫などの無かった時代には、その役割は非常に重要なものであったと想像される。

生活する上での必要性のほかに、「ステイタス」の面もあったようだ。「蔵を建てることは、男の一生の夢だった。」としょう油屋のおっちゃんが教えてくれた。

一かような理由で（今でも）4,100棟以上の蔵がここには残存している。



ある程度の調べがついたところで、まちを歩いてみることにした。マップを広げ、蔵の多い通りを選び（何せ町が広く、とてもすべてを見廻ることは不可能だった。）、おもしろそうなところは写真に撮り、商店であれば、のぞいてみたりした。

喜多方で最初のレンガ蔵と言われる若喜商店に寄ってみた。自家製のしょう油、味噌を売っていた。試食をうながされ、なめてみたら、味噌は少し塩辛く感じた。

土産品をみていたら、奥から和服のおばちゃんが出て来て「お兄さんたちはゴルフをするかい？」と尋ねてきた。・・・いえ、しませんが・・・



「ゴルフのヘッドに使われる縞柿という材料のみで造られた特別な部屋なんよ〜」と、ガラスで仕切られた床の間のある8畳ほどの部屋を指差してそうおっしゃられた。近づくと照明まで付くデラックスでオーソドックスなその部屋は、国登録有形文化財に指定されるとのコト。飾りは何ひとつ無く、ちりひとつ落ちていない部屋というのは、ただただきれいでいて殺風景でしかなく、その材料のお値段にびっくりして終わった。恐れ入りました。m( )m

味噌は買わずに店を出たところで、時計を見ると14時を廻っていた。勉強熱心な私達は、昼メシを食うことすら忘れていたのだ！



「やっぱり喜多方ラーメンだべ」とうなりながら、ラーメン屋探しを始めた。

「せっかく来たのに、マズイラーメンには当たりたくない！」の一心で我々は歩く、歩く、歩く……。近頃の食堂は生意気にもイタリア人みたいにこの時間帯休む。「準備中」の札が白々しく揺れている……。

と、一軒、この時間にもかかわらず行列のできている店があった！……！？

「すごいな、ん〜」

「けっ」

「？」

「ちょっと広告に載っただけの店じゃ。大したこた〜ね〜」

何も根拠はないが、そう言っただけで。

食料隊長は更にスピードを上げ、もうそろそろこの辺りで無いん？と通りの角を曲がったところ、

50 m程先に「中華料理春園」と、ちと古ぼけた看板が目に入った。

内心「もうここでええ」と思ったが、キリッとみんなに向かい、「ここや！」と叫んだ。

2人も「おおっ」と唸った。

のれんをくぐると2人

の地元のおばちゃんが、最後の一面をすすり上げる所だった。

「ほら、ここよ。地元の人に愛される店やないとな！」

「おっほーう、さすが隊長！」

得意気に「おばちゃん、おススメは？」とオクターブ上げて尋ねると、カウンターの上のタレ壁に下がった名札を目でさして、「全部や」と大きな体を左右に揺さぶりながら応えてくれた。

「ビールとぎょうぎと味噌ラーメンおくれ！」

間髪いれず、地酒も注文。喜多方のラーメンは、麺が太メンで、スープはあっさり。もー、ツルツル入る！入る！



超ブ厚いチャーシューに大満足の私達は、会津若松に立ち寄るはずの時間をこの店に捧げることにした。

まち並み調査をしていてふと思うことがある。

- ・生活と密着しているか？
- ・生活する上で現在あるいはこれから必要としている物(事)か？

私の住む宇佐市には、長洲という漁師町がある。

背戸を開ければお隣さん。そんなに張り上げなくても……と言いたくなるくらい大きな声で世間話をしているおばちゃん達。私は愛情をこめてこれを路地文化と呼んでいる。こんな町に車を優



先したインフラ整備が必要だろうか……。背戸や路地は復元できて、おばちゃんたちの元気な笑い声は資料館の中で聞くことはできない。



計画的に意図的にそこに突然置かれたものではなく、地域の特徴を汲み、地域性・民族性の反映された物としてそこには蔵があり路地がある。

喜多方はどうだろう……一部の「蔵」たちは資料

館のなかで、すでにその役割を終え、訪ねてくるよそからの客を静かに待っている。通りを外れると、新興住宅が立ち並んでいた。かつて、この地域においてはなくてはならない存在であった「蔵」。生活様式の変化で、住宅の一部でもあった「蔵」を必要としなくなっているのを見るのは寂しいものだ。



ラーメン屋のおばちゃんが笑いながら言うー。



「又、おいでよね。」

次に訪れた時に、このおばちゃんはまだここに居ないかもしれない。しかし、私が今日訪れた喜多方の風景の

なかには、明らかに存在したし、少なくとも古びた店の看板は、通りの景色を思い出す上で、重要なファクターであった。

……ブ厚いチャーシューの味は忘れないようにするよ……

1時間ほどのんびりしてから駅に向かった。

帰りのホームで珍しいモノに出会った。



ソレは、シューホッホッホッ！と黒煙を上げてゆっくりと止まった。

「SL……？」

黒煙は私達の顔に覆いかぶり、シャネルズな気持ちにさせてから、もう一発ホッ！と鼓息をはいた。「スゲー」としか言いようがなかった。磐越西線では、この時期、新潟⇄会津若松間で週末のみこの「SL磐越物語号」を走らせている。私達はソコに居合わせたのだ。

呑んで気分のいいシャネルズは、手をパチパチたたいて喜んだ。

このアト、間もなくすべり込んできた鈍行に乗り込み、ほろ酔いのまま終着郡山駅まで眠り続けた。

水が育む町、喜多方一。

いつかまた「蔵」と住む喜多方の人々の生活を訪れてみたいものだ。



# 平成23年度九州ブロック 「パッション in 山鹿」レポート

大支部 森本 秀春

去る H24 年 2 月 4 日（土）、熊本県山鹿市の八千代座にて「パッション in 山鹿」が開催されました。今年でパッションが最後ということもあり、今回参加させていただきました。

山鹿市は熊本市の北に位置し、観光と温泉の街で、八千代座、山鹿灯籠まつり、山鹿温泉、山鹿傘等が有名です。また、今回は冬の恒例イベント「山鹿灯籠浪漫・百花百彩」に合わせた開催でした。



八千代座全景

お昼に八千代座へ到着し受付を済ませ、いざ八千代座の中へ。1F 席はマス席になっており、係員の誘導に従い、最前列の 1 マスに 4 名で座りました。同じマスに入ったメンバーが悪かったのか、かなり窮屈な印象を受けました。（伊藤憲吾さん、竹宮浩一郎さん、恒松数弘さん、私の 4 名）。後ろを振り返ると 2～3 名でゆったりと座られており、もっと周囲状態確認すべきだったと少し反省しました。

さて、パッションの開会です。

テーマは「山鹿・豊前街道の建築文化に触れる～芝居小屋の復興からはじまる街づくり～」です。挨拶が終わり、分科会活動に移ります。

今回の分科会は 2 つあり、第一は「八千代座と豊前街道の街づくり」、第二は「山鹿灯籠浪漫・百華百彩竹ライト製作」、私は第一分科会に参加しました。

第一分科会は、八千代座の説明、舞台裏含めた見学および豊前街道の街並み散策という内容でした。

## 八千代座

1910（明治 43）年に山鹿地区の実業家達が出資しあい建設された芝居小屋で、数回の増築・改修を経て、経営不振で昭和 40 年代に閉鎖されました。一時は廃屋同然だったのですが、後世に残すべき「本物」を感じた地元住民や建築士達の熱意によって見事に復興し、2011 年で開業 100 周年を迎え、現在に至っています。



八千代座内天井：復元された鮮やかな天井広告画

復興に際しては、いつの年代で復元させるかが 1 つのポイントとなりますが、最も栄華を極めていた年代の形状で復元したそうです。

建設当時の収容人数は約 1,274 人でしたが、現在は半分の 650 人となっています。これは日本人の体形の変化によるもので、マス席は 4 名 / 1 マスですが、建設当初にあった柵木を 1 本外した状態（昔の 8 名分の席）が現在の 1 マスです、と聞き、昔の日本人は本当に小さかったんだと驚きました。

また、舞台裏である楽屋や奈落、廻り舞台やせり等の舞台装置も見学させていただきました。改修時に鉄骨にて耐震補強も行われたそうですが、補強部材は陰に隠すよう配慮されていたのが印象的でした。

## 豊前街道の街づくり

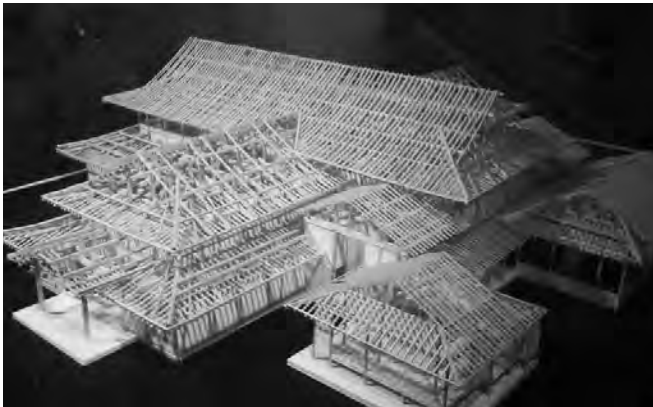
山鹿は熊本城から小倉に至る豊前街道にあり、熊本城からの第一宿場町として栄え、現在も当時の面影を残した街並みがあります。八千代座の復興を契機に地域住民、地元建築士の方々が街並み修景に熱く取り組まれ、現在の景観を保っておられます。

修復にあたっては、単に昔の状態に戻す、というのではなく、今現在その建物を使用されている方々の使い勝手に配慮した修復をされているという説明が印象的でした。



街並み散策状況：千代の園酒造

また、八千代座と並ぶ山鹿のシンボル「桜湯」という温泉館も一旦解体されたのですが、これも住民の熱い想いにより再生が決まり、現在復興工事中でした (H24年10月開業予定)。



桜湯の骨組模型

どの項目も山鹿の方々の「本物」へのこだわり、熱い想いを感じた、まさにパッションという大会でした。

大会が終わり、第二分科会にて製作された竹灯籠の点灯式が17:00にありました。ホテルに向かう途中でその横を通りましたが、まだ周囲は明るく灯籠の美しさを十分に発揮できていませんでした。

さて、いよいよ懇親会です。

場所は山鹿ニューグランドホテル、テーマは、「よへほ、よへほ山鹿ん街で飲むばいた！」(酔いなさい、酔いなさい、山鹿の街で飲みましょう!)。

開会前に「灯籠踊り」の披露がありました。これ

は、毎年8月15・16日に行われる山鹿灯籠まつりにて披露される踊りで、着物姿の女性が灯りの点いた紙灯籠を頭に載せ、優雅に舞う幻想的な踊りです。大変穏やかな気持ちになりました。



灯籠踊り

その後は乾杯で懇親会が始まり、あとは県内外の方々と和気あいあい、懇親を深めました。

懇親会が終わり、夜の山鹿の街へ赴いたところ、灯籠が非常にいい感じで灯を灯しておりました。



建築士会にて製作した竹灯籠

今回のパッションでは、現物(本物)を見て、感じる、ことの大切さを改めて感じました。また、普段なかなか外に出る機会のない私(ただの出不精ですが)にとって、パッション、集いは貴重なきっかけであっただけに今回でパッションが最後というのは残念な限りです。近い内の復活を期待します。

最後に今回の投稿にあたり、快く写真提供いただいた伊藤憲吾さんと山口悟史さんに深謝します。

ありがとうございました。



## 支部旅行(玄海編)

臼杵支部 三重野 元良

平成 23 年 11 月 12 日臼杵支部の支部旅行に 13 名の支部会員で出かけました。

今回の支部旅行は、3 月 11 日に発生した東日本大震災以降、非常に注目度の高まった原子力発電所に行き、原子力発電所を実際目で見て認識しようという趣旨で行いました。更にその行程中に佐賀県の唐津城と福岡県の小倉城の見学を組み入れた 1 泊 2 日の旅でした。



玄海エネルギーパークにて

九州に 2 か所ある原子力発電所の内今回は、佐賀県東松浦郡玄海町にある九州電力玄海原子力発電所を訪れました。玄海エネルギーパークで原子力発電の仕組みや原子力発電所の建築物について色々なことを見学しました。エネルギーパーク 4 階の玄海展望ルームからは、海拔 47 m の地点から原子力発電所の全景を見ることができました。同時に玄界灘の美しい海や玄海国定公園の美しい島々が一望できました。

異動時間の余裕から見学できた唐津城、ここは仕事で何度もこの城を眺めながら通過するだけでしたが、初めて登城しました。

唐津周辺のロケーションは最高で、虹の松原がきれいに延びていました。

名護屋城跡は石垣だけでしたが、その当時の工事に関わる規模は、現在のスケールとは格段に比べようもなく大きなものでした。

遙か遠くに壱岐の島が、霞んでいました。



名護屋城跡にて



小倉城は周辺に松本清張記念館と小倉城庭園を配して、その中心に堂々とそびえています。

城内は各ゾーンが楽しめて、ジオラマや乗ることのできる大名かごが前後に揺れて殿様気分が味わえたり、リアルなからくり人形の

再現コーナーなど、老弱男女まで楽しめる仕掛けがたくさんありました。

これも城郭見学の楽しさが味わえる手法の一つと思いました。

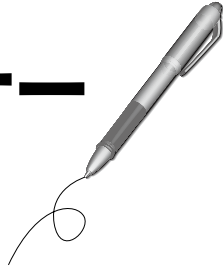


来年がまた楽しみで、お世話頂いた方にお礼申し上げます。





## サマーセミナー in さいき



佐伯支部 長田 孝治

平成 23 年 9 月 10 日（土）に佐伯支部主催の第 25 回サマーセミナー in さいき～潮騒の香る夜、砂浜を歩けば海亀に出逢うかも・・・～“このあまへの地で、明日の時代を考えよう！！”を佐伯市蒲江「マリンカルチャーセンター」にて開催しました。

当日、12 時 30 分から受付開始し、13 時から開会式を行い、13 時 30 分から各分科会に分かれて行動しました。第一分科会は板金による、シートメタルアートの作成・第二分科会は元猿海岸にて、サンドアートを作成・第三分科会はバスにて移動し、海の資料館、高平展望公園散策、そして時間が余ったので、蒲江の道の駅を散策しました。



16 時から分科会報告、16 時 30 分から各自館内自由散策。そして、18 時 30 分から懇親会です。開会の挨拶の後、アトラクションの竹野浦神楽保存会による神楽・当館料理長によるぶりの解体ショー、そして、各支部対抗ゲーム大会で盛り上がりました。



引き続きの夜なべ談義では、カラオケ、佐伯支部恒例の井上支部長による弾き語りありで、楽しく歓談いたしました。この後、砂浜にて 3 次会があった模様です。各支部の皆様、遠くから参加して頂き、ありがとうございました。楽しんでいただけたでしょうか？準備等大変でしたが、楽しい思い出が、またひとつできました。





### 長い間お世話になりました! 高田支部事務局

高田支部 後藤 憲二

平成24年度を目前にして高田支部の事務局の建物を無くすことになった。ここ数年間、事務局の開所時間を一日中から午前中だけに、毎日開所から週3日間へと変更し、更に今迄の余剰金から予算補填をして収支を保ってきましたが、昨年末の役員会で協議した結果これ以上の支部事務局の存続を維持し続けることが難しいという結論に達した。今年の新年会の席で会員の皆さんに説明し、了承してもらいました。

支部の有志数名と事務局の甲斐さんとで2月初旬に事務所内の主だった書類の整理をしたが、思っていた以上に書籍や書類が多くあり、整理紐を買い足しに行ったほどだった。

書類整理をしているのに、「これ何年前の写真だ。」「まだ髪が黒いぞ。」「ソフトボール楽しかったなあ。仕事そっちのけで練習したりしたもんなあ。」

「これうちがやった最初のサマーセミナーだ。」「2回目のサマーセミナーのアトラクション制作あんだのこの会社の倉庫で作ったよな。」「これどこのサマーセミナーだ。」「この花見の時はかつぼれ酒相当飲んだな。」など整理の途中で出てきた古い写真やソフトボール、グローブ、バットを見ながら、みんなであれやこれやと四方山談議が始まってしまう。

今迄の長きに渡り、我々支部会員を支えてくれた事務局の存在の大きさを感じた。

当初、何回か支部事務所のロケーションが変わったが、最終的に現在の県総合庁舎裏の場所を借地して、支部事務所を構えた。結局、何年経ったかは正確には分からなかったが20年以上は経っているとのことだ。私が、建築士会に入会して14年程経つが、その時は既にこの事務所だった。支部事務局の

事務所があることが当たり前であった状況から無くなってしまふことは、なんとも物悲しい気分だ。

県総合庁舎の駐車場を挟んでの立地の良さが、確認申請の提出や受け取り後に事務局に立ち寄り易い。事務局の甲斐さんの人当たりの良さもあり、会員が入れ替わり立ち寄る。事務局で色々な情報（建築士会関係は当然のことそれ以外情報も）が手に入る印象が今でも残っている。甲斐さんが絶妙なタイミングでコーヒーやお茶のお代わりを入れてくれる。居心地の良さについつい長居してしまう。

“あつ！もうこんな時間だ。打ち合わせに行かないと” “お昼のサイレンだ。じゃあ帰りますね。” ことがよくあった。

今後は、清末支部長に事務局を兼務して頂くことになる。支部長の負担が大きくなるようにメーリングリストの参加者を増やすことや大きな容量の情報は流せないが携帯のアドレスを利用した各行事や事業の情報を流す簡潔な連絡用のメーリングリストの構築が必要で、早急に整備しなければと考えています。

これまで、長きに亘って我々高田支部会員を支えてきてくれた事務局の甲斐茂子さん大変ありがとうございました。そしてご苦労様でした。

高田支部の役員会で、甲斐さんは事務局を辞められますが、これまでの甲斐さんの支えに感謝して、今後の高田支部のイベントには名誉事務局員として招待し、参加して頂こうということになりました。今後も我々とともに活動して頂ければ幸いです。

現在、14支部の内、既にいくつもの事務局が独立しておらず、支部長の会社が事務局を兼ねている状況らしい。数年前に前会長の岩瀬会長がおっしゃられていたように現在の支部の枠組みの変更を検討しなければならぬ時が来ているのかもしれない。

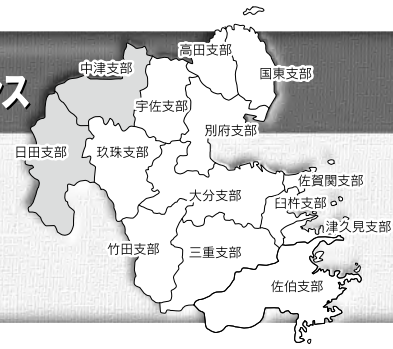
できれば、我が街に支部を存続したい。会員の増加や支部としての事業収入の確保が必要となる。大分県建築士会全体で取り組める事業（収入のあるもの）についても事業委員会等で検討して欲しい。

# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和58年6月15日
- ★勤務先 有限会社西部住宅
- ★趣味 バスケットボール・買い物・ゴルフ

### ★将来の夢、モットー等

今年度より建築士会（中津支部）に入会いたしました(有)西部住宅の畑中聡子です。父が営む(有)西部住宅に入社し、設計・現場監督・顧客管理などの仕事をしています。

6月に沖縄で行われた建築士の集いにも参加させていただいたくさんの方に出会い、勉強させていただきました。

まだまだ分からない事もたくさんありますが今から色々なことに参加して学ばせて頂きたいと思っています。

これからも中津が元気になるよう建築士で盛り上げていきたいです。



畑中 聡子 (中津支部)

- ★生年月日 昭和53年2月14日
- ★勤務先 日田市役所
- ★趣味 アウトドア

### ★将来の夢、モットー等

今将来の夢は世界中を旅したい・・・夢・・・夢・・・夢です。

モットーは「堅忍不拔、読書三到すれば発憤忘食の境地」なんて難しいことを書きましたが、簡単に言うと向上心を忘れず一日一歩でも向上していくことです。しかし、思っているのですができていない今日この頃よろしくお祈りします。



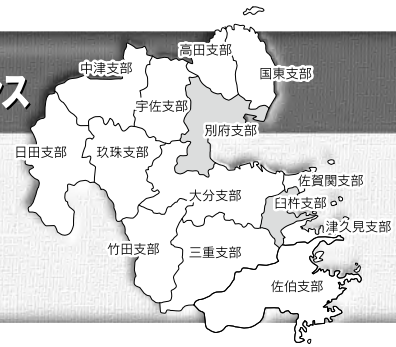
佐藤 幸司 (日田支部)

# PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

## 会員紹介

(掲載については順不同です)



- ★生年月日 昭和59年9月10日
- ★勤務先 別府市建設部建築住宅課
- ★趣味 ゲーム・料理

### ★将来の夢、モットー等

3年ほど前に、建築士会別府支部に入会させていただきました。

福岡から、ここ別府に移り住み、親戚も知り合いも全くいない私を、建築士会の先輩方は、暖かく迎え入れてくれました。

まだまだわからないことばかりで、日々勉強の毎日ですが、これから、建築士会の活動を通して、色々な経験を積んでいく中で、少しでも先輩方に近づけるように、そして、少しでも人の役に立てる建築士になれるように、頑張っていきたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。



石川 直也 (別府支部)

- ★生年月日 昭和52年4月28日
- ★勤務先 (有)ヒメーン山園
- ★趣味 スポーツ全般

### ★将来の夢、モットー等

皆さん初めまして、建築士会臼杵支部に入会させていただきました、(有)ヒメーン山園の木村純孝と申します。今までは、社長であり私の父親でもある木村健一郎が、長年大変お世話になりました。ありがとうございました。

昨年、私が建築士の資格を取ったという事もあり、この4月から役不足ではありますが、交代で入会させていただきました。親父程の事は出来なくても、小さな事でも将来的には建築士会のお役にたてる、何か新しい事ができる人間となれるよう努力していきたいと思いました。

まだ、何一つ分からない若輩者ですが、この会を通じ勉強させて頂き、自分自身を高めながら皆さんの絆を深めてゆくことができるよう頑張っていきます。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。



木村 純孝 (臼杵支部)

# MY WORK

- ★建物名称 萱島酒類株式会社 岡城蒸留所「福寿屋」
- ★建築場所 竹田市
- ★設計者 株式会社 佐伯建設一級建築士事務所
- ★施工者 株式会社 佐伯建設
- ★構造・面積 木造2階建て・140.0㎡
- ★用途 事務所・店舗
- ★竣工 平成21年10月
- ★設計趣旨

この建物は、城下町竹田市竹田町に竹田市歴史的町並み景観形成にふさわしく、屋根を和型いぶし棧瓦葺き、外壁を本漆喰塗とした白壁を使った商家風の建物である。外構にも町並みに配慮し、塀を木製の透き板塀とし、木製の灯籠を配置した。

岡城蒸留所「福寿屋」は木造2階建ての事務所・店舗棟と鉄骨2階建ての酒蔵棟があり、正面右側には庭園を設けている。店舗内は木肌を生かした内装とし、この地で醸造される焼酎「豊後の清明」と日本酒や竹田市の特産品などを販売する。又、試飲コーナーもあり、竹田市の新たな観光スポットになりそうである。



- ★建物名称 O様邸
- ★建築場所 佐伯市城南町
- ★設計者 (有)御手洗設計  
藤田 康弘
- ★施工者 ザウラス (谷川建設工業株式会社)
- ★構造・延床面積 木造二階建て122.54㎡
- ★用途 専用住宅
- ★設計趣旨

1. かわいらしい外観
2. 長期優良住宅仕様
3. 高気密・高断熱・高耐震
4. 在来+SWパネルのSW工法
5. ご主人手作りの洗面台・手洗い設置



# MY WORK

- ★建物名称 大分空港バス・タクシー発着場
- ★建築場所 国東市安岐町下原
- ★設計者 DAN一級建築士事務所
- ★構造・面積 鉄骨造 998.93㎡
- ★用途 乗降車場
- ★設計趣旨

大分空港の名物として長年親しまれてきたホーバークラフトが廃止され、それに伴うターミナルビルとホーバー乗り場を結ぶ連絡コンコースの撤去及びバス・タクシー乗り場の改修という工事であった。既存のコンコースの躯体部分を残し再利用するというので、元の柱、梁のボリューム（重量感）を新設の屋根・庇等であまく軽減できるよう、バランスを考慮しながらすっきりとした空間になるよう計画した。

又、大分県の空の玄関口ということで、大分の自然・環境が意識できるように県産材の杉を天井に使うなど、温もりのある空間となるよう配慮した。



- ★建物名称 穴井美容室
- ★建築場所 玖珠郡玖珠町帆足
- ★建築主 穴井 小鈴
- ★設計者 有限会社 尾方設計
- ★施工者 有限会社 高井良建装
- ★構造・面積 鉄骨造 建築面積：78.52㎡ 延床面積：133.98㎡
- ★用途 美容院
- ★竣工 2011年（平成23年）12月
- ★設計趣旨

1階にヘアサロン、2階に着付室をもつ美容室。先進的で高齢者にも優しい美容室をコンセプトに、外観はスリット窓、スクエア窓をリズムある配置とし、黒と白をベースとしたシンプルモダンな建物である。駐車場から玄関、ヘアサロンは全てバリアフリーとしている。



# BOOK My Best Book

マイベストブック

【赤ひげ診療譚】山本周五郎／新潮文庫

【さぶ】山本周五郎／新潮文庫

【ながい坂（上）（下）】山本周五郎／新潮文庫

三重支部 佐藤 勤也

最近読んだ中で山本周五郎さんをご紹介します。

ビッグネームなので一度は手にされていると思いますが、私には今でした。

そのきっかけとなったのが、わが町清川の診療所の存廃問題がありまして、これがなかなか医師の不足等で（現在も問題はありますが）終着点が見出せず、会議の際は必ず話題になり、平成の赤ひげを待望したもので、その名の起源である「赤ひげ診療譚」を手にした事です。

そこには「医術が進んでもその個体の生命力を凌ぐ事は出来ないだろう」の言葉が、印象的で、酒を求めてやまない日常が極めて不養生で生命力を削いでいる事を反省し、医術の限界を超えて生命力を涵養するべく小石川養生所を想像しながら節制を決心したので



「この養生所にこそ医者らしい医者が必要だ」と赤ひげこと新出去定（にいできょじょう）が語る。今清川診療所は関愛会の女医さんが赤ひげたらんと引継いでくれている。

「さぶ」は、ぐずでとんまな“さぶ”と正反対のかっこよきの栄二の友情が軸で、ある時栄二が罨に落ちたが・・・「俺は人足寄場に送られて良かったと思っている、そこで



色々な事を教えられた、普通の世間ではぶつかる事の無い、人間同士のつながりあいや、気持ちの裏腹や、生きていく事の辛さや苦しさを身に沁みて教えられたんだ、ここでの足掛け三年は、しゃばでの十年より為になった」・・・恨み憎しみが寛容や感謝に変わる時・・・

なんでも野田首相の愛読書だとか・・・何処に惹かれているのでしょうか？

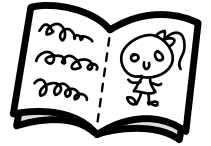
「ながい坂」（上下）は題名どおりのながい時代小説です。丁度私が休止モードに入った時にいい機会だと集中的に読ませて頂きました。周五郎さんの自叙伝であるとの事ですが、重い荷を背負って長い道を行くがごとき人生行路、たゆむこと無い勉強や限りない孤独、人間であることの喜びや悲しみや悩みが生々しく迫り、秩序の中に雁字搦めになりながらも、飽くまで人間的であることが嬉しい読本です。藩政改革を断行した上杉鷹山翁や「坂之上の雲」を感じました。

今でこそ、もう少し周五郎さんにお付き合いさせて頂こうと思っています。





# My Best Book



マイベストブック

【壬生義士伝】 浅田治郎／文芸春秋  
竹田支部 木歩士 貴子

時は旧幕府軍の敗退が決した鳥羽伏見の戦、大阪城からはすでに火の手が上がっているそんな夜更け、満身創痍の侍が大阪の南部藩蔵屋敷にたどりついた。

いったいどれだけの人を斬ればこれだけ刀身が曲がってしまうのか、誰もが口つぐむ様相で入ってきた吉村貫一郎。脱藩した主家に帰参を願うも切腹を命じられる……。ドラマや映画にもなった浅田次郎の代表作。

昨今人気の坂本竜馬や新撰組と言えば土方歳三や沖田総司など有名な人はたくさんいる中で、どんな時代小説にもただの端役でしかない男にスポットをあててここまで感動する作品と仕上げる作者の腕に脱帽である。

2000年に第1版が発行されただいぶ前の作品だが、東日本大震災からちょうど1年の今だからこそ読んでほしい一冊である。武士が武士でなくなり百姓が武士になるそんな時代に国のため、藩のため、武士としての誇り、そんなもののためでなく、ただただ愛する家族のために必死に生きる。その純粹さひたむきな姿がまばゆくかっこいい。本の中でも、そんな彼の姿に惹かれ敵も味方もなく「吉村貫一郎を死なせてはならぬ」と誰もが全力で尽くす。人は何のため、誰のために生きるのか、わかっている男だからこそみなまばゆく思うのである。震災で家を失い家族や大切な人を失いそれでも必死に生きている東日本の方々の姿と重なる。時が時なら、いまこそ皆が手を取り合って強くひたむきに生きていこう。3・11にして強く思う。



【たべもの江戸史】 永山久夫／河出文庫  
高田支部 後藤 憲二

雑学の本は色々あるが今回紹介する“たべもの江戸史”は私達の生活上でとても重要な食についての変遷や現在にも残っている言い回しなどが分かり読んでいてなかなか楽しい。

今では当たり前のように朝、昼、晩と一日3食食べているが、古くは朝餉（あさげ）、夕餉の2食だった。どこかのインスタントみそ汁と同じ名前だ。確かみそ汁には、ひるげもあったなあ。平和時の武士は2食だったのが、戦時態勢に入ると3食になり、この回数が習慣化し、室町末期から江戸初期に一般化したようだ。更に、2食の時は強飯（こわいい）今でいうおこわだったのが、3食になると姫飯（ひめいい）今のごはんが圧倒的に多くなる。姫飯は消化が早いから空腹になるのも早い。その上、姫飯は精白米を用いる場合が多かったので栄養的にも2食だと体がもたない。なるほど納得だ。

京都は衣装に凝り食べ物にはいたって質素だったらしい。今では、食い倒れというと大阪というイメージだが、当時、大阪と江戸は共に食に贅を尽くし、両者の間には、その好みや習慣の相違があったらしい。江戸の味覚は上方のものをベースにして育ち、本家を凌ぐ文化を生み出し、「食い倒れ」といわれるほど爛熟し、日本最大の商都大阪にUターンして、更に大衆化していったようだ。上方と江戸の違いを表にして記されていて面白い。現在、私達の食のルーツがどちらの影響が強いかよくわかる。

他にも食にまつわるトピックスが満載である。江戸で人気の食べもの章は特に面白い。





# おおいた建物発掘隊

豊後高田市編

高田支部 後藤 憲二

県北の神社というと豊後高田市の隣の宇佐市にある宇佐神宮が有名ですが、豊後高田市にも由緒ある神社があります。市内草地（くさじ）にある三笠山春日神社です。

平成21年には、3日間に渡り千二百年祭が執り行われたほどです。大祭奉告祭・天皇皇后両陛下御結婚満50周年奉祝祭から始まり、式年大祭と記念式典、各種奉納行事、さらにスタッフを加えると230名の参加者による「大潮汲み神事絵巻」の再現など、多くの参拝者を迎えて盛大なものでした。



拝殿

三笠山春日神社は、大同4年（西暦809年）、当地で幾夜にもおよぶ雷鳴と稲光の中に、地元の郷士の兵部卿という人がその様子を伺ったところ、榎の大木のこずえに白鹿にまたがった白髪の老人が忽然とあらわれ「われは三笠山に住める翁ぞ」と告げて、南東方向に飛び去りました。これこそまさしく春日大明神に違いないとして、宮殿を造営したのが春日神社の始まりです。



三笠山春日神社は、昨年平成23年に国登録有形文化財となりました。境内建物のうち、平成14年の平成大改修工事事業に際して、倒壊の危険からやむを得ず建て替えた神輿蔵と尾園神幸殿を除く、三笠山と尾園御旅所にある全ての木造建物11件と、参道（南参道）鳥居並びに西参道鳥居の合計13件の登録です。



本殿と摂社巖島神社、摂社八坂神社



本殿（江戸末期）

その登録に向け調査を行った熊本大学大学院伊東龍一教授は、報告書の中にその特徴を次のように記しています。

「拝殿、申殿、神殿を一直線に並べ、西に石段や西門を設ける形式は、この地方の中心的位置を占める宇佐神宮の建物配置に共通するものである。神殿の左右に摂社を配し、3つの社殿を並べる形式も、宇佐神宮との関係が濃厚な柞原八幡宮の神殿左右に西宝殿、東宝殿を建てる形式に共通している。」

「三笠山春日神社は、長い歴史を持つが、それに相応しい社殿を備えている。宇佐神宮の影響が濃厚にうかがえるこの地方らしく、宇佐神宮と共通する要素が社殿の配置、建物の種類にみられ、それらがセットでよく残されている点が貴重である。



摂社厳島神社

摂社八坂神社

神門の両脇には、隋身像が修復されて奉納され



ています。神門を通るときは左右の像を見比べてみてください。



神門 (弘化2年、1845年)

神門を潜ると正面に拝殿が参道西側 (左側) に珍しい鐘楼が見られます。これは、国東半島が神仏習合の地であることを証明しています。



参道東側 (右側) には、能舞台のように橋掛を備えた神楽殿が見られます。



春日大社には林檎の庭がありますが、これは高倉天皇さまが中国からの林檎の木を奉納したことに始まるそうです。三笠山春日神社でもご本社に倣い、千二百年祭の事業の一環としてりんごの植樹を計画



し、青森県に依頼したところ、和りんごの原種とされる「新疆野苹果」「黄太平」の苗木をこころよくご奉納頂け現在も元気に根付いています。毎年春祭りの時期には満開の花を咲かせるほか、果実は和りんご酒として初詣などに振舞われています。

三笠山春日神社の手前約 500 m の境内西方の集落にある御旅所には、前面を吹放した農村舞台形式の余興舞台が保存されていて、神社と民衆との結びつきを伝えています。



御旅所

# ぐるめ探訪



津久見支部 大村 正壽

見つけました…保戸島ならではの味…津久見市保戸島は、古くからマグロ遠洋漁業の基地として栄えた島です。保戸島中学校のそばの路地を少し進むと、変わり者(かなりといっても良いのでしょうか)のマスターと美人(かなりの美人といっても良いでしょう)の奥さんの二人で切り盛りしている食事&喫茶の店「かず」発見。



連絡船の着く港から徒歩で約10分、マスター長瀬和弘(63才)(偶然にも筆者の息子と同名、何かを感じると共に、これまた変わり者の遠くで生活している息子のことが頭をよぎりました)奥様かずみ(60才)さんと二人三脚で頑張っていました。



お店の名前の由来は二人の名前から…  
営業時間は11:00~19:00ですが、お客さんの居ないときは早目の閉店、逆に盛り上がったときはお客さんが決めます。



そこで見つけました。保戸島の味…「サザエ丼」



旬の魚のダシで作った「味噌汁」(今日はホゴ汁) 季節の「小鉢」(今日はツブブキの煮物)「漬物」セットで¥850 気分しだいで食後のコーヒーが期待できるかも…? 本当の名物はカツ丼¥700 だそうです、季節により特別なメニューも有ります。



一度時間を作って「サザエ丼」と変わり者のマスターと美人の奥さんの雰囲気味わってみては…

連絡船は1日7往復、所要時間は津久見港から25分  
連絡先: 0972-82-2507 (有)やま丸  
お店の連絡先: 0972-87-2456

# ぐるめ探訪

## 別府の美味しい パン屋さん

別府支部 須藤 祐未

別府のパン屋といえば・・・『友永パン』と答える人が多いはず。美味しい！！  
しかし、それ以外にもいろいろなパン屋がある。一部だけご紹介♪



『MOCOMOCO』 別府市山の手町3253-1

ゴマがたっぷりついた牛蒡のパン。おかずパンの種類が豊富な店。無料でコーヒーをいただけるスペースがある。



『パン・ド・ヒロ』 別府市石垣東1丁目6-17

ジャムが入ったフレンチトースト。イタリアンのお店に併設されている。今回行ったお店で一番手頃かも～



『cocolate』 別府市幸町2-18

いちじくの入ったライ麦粉パン。カフェがあり、ケーキも置いている。2つの味が楽しめる手作りジャムが置いてあり、プレゼントによさそう。



『Mana Bread』 別府市石垣東7丁目4-41-1F

栗と胡桃のパン。ハード系のパンが多い。甘いパンから、ウィンナーの入った辛口のまである。次の日焼いて食べたらカリカリで美味しかった。



『Cram』 別府市船小路町3-30

オレンジ&クリームチーズデニッシュ。スイーツ系パンがいろいろ。カフェコーナーもある。特製ガーリックバターや菓子器具なども置いてある。

今回は日曜日にまわったので残念ながら閉まっているお店もあり・・・次の日ももっちりしたパンの『P'an Crust』、ベーグルで有名な『GURUMAND』など他にもある。今春はパンを持ってドライブに♪

# ぐるめ探訪

## 真玉(豊後高田)の魚料理

高田支部 後藤 憲二

今回は、魚大好きな人にお勧めのお店です。豊後高田市の市街地から国道213号線を香々地方面に向かって約6km進むと国道沿いにある“美のり”です。



進行方向の左側に道の駅“夕陽の丘またま”があり、そのすぐ先のバス停「大村」の前にあります。スーパーバリュー真玉やテナントショップがあるすぐ横です。

昼は、定食とお寿司があるが定食がすごいのだ。

今回は、定食をいくつか紹介するために家族3人とともに食事に出かけた。(写真撮影のため)

私の一押しは、「刺身定食」1,260円



どうぞこの何種類もある刺身のオンパレード。かつてこんな刺身定食に出会ったことがない。友人を連れて行くときも「とにかく刺身定食がすごいんだ。」と事前に説明していても「すげえなあ」ってびっくりするぐらいだ。まぐろ、ぶり、鯛、甘海老、さけ、かんばち、ホタテなど10種類以上だ。刺身好きにはたまらない定食だ。

他の定食は、すべて840円。

この日の焼き魚定食は、ぶりかまの塩焼きでし

た。脂ののったブリカマは最高でした。(自分で食べた定食) 焼き魚は、日によって違います。

天ぷら定食は、海老天3尾をはじめイカ、キスなど魚の天ぷら、大葉、ナス、カボチャなどでんこ盛りです。

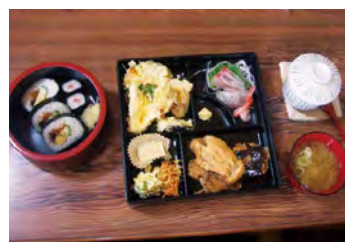
あら煮定食は、今回頼んでいないので写真は、紹介できませんが以前友人が食べたものを見たのですが、これまたかなりのボリュームでした。私は、煮魚があまり好きではないので、いまだ頼んだことはないが友人曰く、“とても美味しいし、あら煮がこんなにたっぷり食べられる定食は他にはないなあ”とのことでした。これら3つの定食にはそれぞれ茶碗蒸し、味噌汁、小鉢2~3鉢、果物、お新香それに食事後のコーヒーまでついているのだ。

最後に月~土には日替わり寿司ランチがある。これまた840円で刺身、天ぷら、アラ煮、煮物や炒め物が3種、茶碗蒸し、味噌汁、寿司(この日は、巻きずしと鉄火巻でした。巻物はレタス巻き、新香巻きなど日替わりです。)当然食後のコーヒー付きです。

夜は、美のり定食(1,575円)の他、コース料理が2,100円、3,150円、4,200円、5,250円とある。2,100円以外は要予約です。因みに2,100円コースは、小鉢、酢の物、茶碗蒸し、刺身、焼き物又は煮物、カニ又はエビ、サラダ、天ぷら、寿司、味噌汁又は吸い物、デザートです。

地元で人気のお店ですのでランチ時も電話予約をした方がよいと思います。

【美のり】 豊後高田市西真玉 2450-1  
☎ 0978-53-5556  
定休日：火曜日





## 事務局だより

### 【会議等報告】

#### ■会計監査

日時 平成23年4月25日  
場所 事務局  
出席 監事・役員5名、事務局3名

#### ■第1回三役会議

日時 平成23年4月26日  
場所 建築構造技術センター  
議題 1) 22年度決算及び23年度事業計画  
予算について  
2) その他

#### ■第1回理事会

日時 平成23年5月10日  
場所 コンパルホール  
出席 理事30名、監事3名、女性部会長1名  
議題 1) 22年度事業報告及び収支決算報告  
2) 23年度事業計画(案)及び収支予算  
(案)について  
3) 新公益法人について  
4) その他

#### ■平成23年度通常総会

日時 平成23年5月30日  
場所 大分文化会館 第1小ホール  
出席 出席者 52名、委任状313名 計365名

#### ■平成23年度青年部通常総会

日時 平成23年5月30日  
場所 大分文化会館 第1小ホール  
出席 15名  
議題 1) 平成22年度事業報告及び収支決算の  
承認について  
2) 平成23年度事業計画(案)及び収支  
予算(案)の決定について

#### ■第2回三役会

日時 平成23年5月30日  
場所 大分文化会館 第1小ホール  
出席 12名  
議題 1) 総会後の対応について  
2) その他

#### ■第3回三役会

日時 平成23年6月30日  
場所 コンパルホール  
出席 10名  
議題 1) 新公益法人について  
2) 状況報告  
3) その他

#### ■事業委員長会議

日時 平成23年7月27日  
場所 事務局  
出席 7名  
議題 大分県立美術館についての意見交換会開催  
について

#### ■県南青年部会議

日時 平成23年7月30日  
場所 佐伯マリンカルチャーセンター  
出席 16名  
議題 1) サマーセミナーについて  
2) 全国青年委員長会議の報告

#### ■第4回三役会

日時 平成23年10月5日  
場所 コンパルホール  
出席 8名  
議題 1) 公益法人への移行について  
2) その他

#### ■中間監査

日時 平成23年10月24日  
場所 事務局  
出席 監事・役員6名、事務局3名

#### ■第5回三役会

日時 平成23年11月10日  
場所 コンパルホール  
出席 10名  
議題 1) 支部長・理事合同協議会について  
2) その他

#### ■支部長・理事合同協議会

日時 平成23年11月25日  
場所 都インホテルおおいた  
出席 31名  
議題 1) 委員会報告  
2) 青年部会活動状況の報告  
3) 女性部会活動状況の報告  
4) 中間決算報告  
5) 中間監査報告  
6) その他

■第6回三役会

日時 平成23年12月26日  
場所 コンパルホール  
出席 10名  
議題 1) 新公益法人について  
2) 予算執行について  
3) 講演会（東京スカイツリー）について  
4) 今後の日程について  
5) その他

■県央青年部会議

日時 平成24年1月14日  
場所 事務局  
出席 11名  
議題 各支部の今後の活動報告について

■第7回三役会

日時 平成24年2月20日  
場所 コンパルホール  
出席 7名  
議題 1) 新公益法人について  
2) 九州ブロック会議報告  
3) その他

【委員会報告】

■第1回新公益法人検討特別委員会

日時 平成23年5月30日  
場所 大分文化会館 第1小ホール  
出席 23名  
議題 1) 新公益法人への移行について  
2) その他

■第1回調査研究委員会

日時 平成23年6月2日  
場所 コンパルホール  
出席 15名  
議題 1) 平成23年度事業計画について  
2) その他

■第1回おおいた地域貢献まちづくり活動センター委員会

日時 平成23年6月22日  
場所 事務局  
出席 7名  
議題 1) 平成22年度事業報告について  
2) 平成23年度事業について

■第2回新公益法人検討特別委員会

日時 平成23年6月30日  
場所 コンパルホール  
出席 20名  
議題 1) 新公益法人への移行について  
2) その他

■第2回調査研究委員会

日時 平成23年7月1日  
場所 コンパルホール  
出席 18名  
議題 1) 実施計画について  
2) その他

■第1回調査研究委員・実行委員合同委員会

日時 平成23年8月8日  
場所 アートプラザ  
出席 20名  
議題 1) 下記事業の実施日程及び予算について  
①地域の歴史的建造物の保全活用に係る専門家育成事業  
②専門家育成研修事業により育成された人材を活用した地域に根ざした歴史的建造物の掘り起こし事業  
③大分県の「近代和風建築総合調査」事業  
2) その他

■第3回新公益法人検討特別委員会

日時 平成23年10月5日  
場所 コンパルホール  
出席 19名  
議題 1) 新公益法人への移行について  
2) その他

■第1回事業委員会

日時 平成24年2月6日  
場所 コンパルホール  
出席 9名  
議題 1) すべての建築士のための総合研修について  
2) その他

## 【建築士会連合会関係】

### ■第456回定例理事会・土会長合同会議

日時 平成23年5月26日  
場所 東京都  
出席 芳山会長 井上副会長（連合会理事）  
議題 1) 平成22年度事業報告について  
2) 平成22年度補正予算および平成22年度収支決算について  
3) 平成23年度事業計画（案）及び平成23年度収支予算（案）について  
4) 全国大会の今後の在り方について  
5) 後援名義等の使用許可について  
6) 平成23年度通常総会の運営について  
7) その他

### ■平成23年度通常総会

日時 平成23年5月26日  
場所 東京都  
出席 芳山会長 井上副会長（連合会理事）  
議題 1) 平成22年度事業報告及び平成22年度収支決算承認の件  
2) 平成23年度事業報告及び平成23年度収支決算承認の件

### ■全国青年委員長会議

日時 平成23年7月9日  
場所 大阪府  
出席 山村青年部会長  
議題 1) 会員増強 各単位会ブロック間の連携について 他

### ■第457回定例理事会

日時 平成24年1月20日  
場所 東京都  
出席 なし  
議題 1) 平成23年度事業報告概要及び平成23年度収支会計状況  
2) 平成24年度事業計画（案）及び平成24年度収支予算（案）  
3) 平成24年度役員改選について他

### ■全国女性建築士連絡協議会

日時 平成24年2月17日～18日  
場所 京都府  
出席 中道了子女性副部会長  
概要 基調講演、パネルディスカッション

## 【九州ブロック会関係】

### ■第1回青年建築士協議会・女性建築士協議会

日時 平成23年4月23日  
場所 那覇市  
出席 山村青年部会長  
中道女性副部会長、宇野女性部副部会長  
議題 1) 「建築士の集い」福岡大会の決算報告  
2) ブロック大会運営委員会  
3) その他

### ■九州ブロック会総会

日時 平成23年6月17日  
場所 熊本市  
出席 芳山会長、大塚常務理事  
議題 1) 平成22年度事業報告及び収支決算について  
2) 平成23年度事業計画及び収支予算について  
3) 各県提出議題他

### ■第1回青年建築士協議会・女性建築士協議会運営委員会

日時 平成23年6月25日  
場所 那覇市  
出席 山村青年部会長、奥田青年部副部会長  
中道女性部副部会長、宇野女性部副部会長

### ■九州ブロック建築士研究集会「建築士の集い」 沖縄大会

日時 平成23年6月25日  
場所 那覇市「ホテル日航那覇」  
参加 46名

### ■事務局長会議・職員研修会

日時 平成23年9月2日  
場所 福岡市  
出席 事務局長、職員2名  
議題 各県提出議題協議

### ■第2回青年建築士協議会・女性建築士協議会

日時 平成23年10月22日  
場所 山鹿市  
出席 山村青年部会長、奥田青年部副部会長  
中道女性部副部会長、宇野女性部副部会長  
議題 1) 「建築士の集い」沖縄大会決算報告について  
2) ブロック大会運営委員会  
3) その他



■第1回会長会議

日時 平成23年11月7日

場所 鹿児島市

出席 芳山会長

- 議題 1) 平成23年度事業報告・収支報告について  
2) 各県提出議題に対する質疑応答  
3) 「パッション in 山鹿」の計画及び予算について  
4) その他

■第2回会長会議

日時 平成24年2月3日

場所 熊本市

出席 芳山会長

議題 各県提出議題に対する質疑応答

■平成23年度「九州パッション in 山鹿」

日時 平成24年2月4日

場所 山鹿市

参加 51名

【行事報告】

■サマーセミナーin佐伯

日時 平成23年9月10日

場所 マリンカルチャーセンター

出席 82名

内容 分科会、支部交流会

【建築士試験関係】

■二級・木造建築士試験受験申込受付

インターネット受付 4月1日～7日

〈二級〉 学科 34名、製図 21名

〈木造〉 学科 0名、製図 0名

4月11日～15日 於：事務局 審査員 10名

〈二級〉 学科 182名、製図 21名

〈木造〉 学科 0名、製図 0名

■一級建築士試験受験申込受付

インターネット受付 4月18日～27日

学科 127名、製図 23名

5月9日～13日 於：事務局 審査員 10名

学科 104名、製図 7名

■二級建築士学科試験

試験日 7月3日

会場 日本文理大学

実受験者数 177名

監理員 11名、補助員 6名

■一級・木造建築士学科試験

試験日 7月24日

会場 日本文理大学

実受験者数 一級： 179名、木造： 0名

監理員 13名、補助員 4名

■二級建築士設計製図試験

試験日 9月11日

会場 大分県立芸術文化短期大学

実受験者数 79名

監理員 10名、補助員 4名

■一級・木造建築士設計製図試験

試験日 10月9日

会場 日本文理大学

実受験者数 一級： 54名、木造： 0名

監理員 7名、補助員 2名

【その他講習会等】

■建築確認手続等運用改善（第2弾）及び

規制改革等の要請への対応

日時 平成23年4月20日

場所 大分県教育会館

受講者 145名

■木造建築講演会

日時 平成23年7月2日

場所 大分センチュリーホテル

受講者 57名

■地域文化財建造物専門家育成研修（1日目）

日時 平成23年8月20日

場所 アートプラザ研修室

受講者 20名

■建築士定期講習

日時 平成23年8月24日

場所 大分県教育会館

受講者 252名

■地域文化財建造物専門家育成研修（2日目）

日時 平成23年9月17日

場所 大分文化会館第1小ホール

受講者 25名

■地域文化財建造物専門家育成研修（3日目）

日時 平成23年10月22日

場所 アートプラザ研修室

受講者 29名

■建築士業務の責任と処分の解説

日時 平成23年10月24日

場所 大分県教育会館

受講者 5名

■地域に根ざした歴史的建造物掘り起こし研修会

日 時 平成23年11月19日

場 所 コンパルホール

受講者 32名

■地域文化財建造物専門家育成研修（4日目）

日 時 平成23年11月26日

場 所 豊後高田市・宇佐市・国東市

受講者 27名

■木造建築講演会

日 時 平成23年11月26日

場 所 県庁正庁ホール

受講者 90名

■地域文化財建造物専門家育成研修（5日目）

日 時 平成23年12月3日

場 所 玖珠町

受講者 28名

■地域文化財建造物専門家育成研修（6日目）

日 時 平成24年1月28日

場 所 中津市

受講者 25名

■建築士定期講習

日 時 平成24年2月17日

場 所 大分県教育会館

受講者 220名

■地域文化財建造物専門家育成研修（7日目）

日 時 平成24年2月25日

場 所 別府市

受講者 25名

**広報委員**

担当副会長	〈臼杵〉	三重野	元	良
委員長	〈大分〉	中園	幸	治
委員	〈大分〉	山本	伸	二
委員	〈大分〉	赤峰	秀	樹
	〈三重〉	岡部	達	巳
	〈中津〉	工家	一	彦

**編集委員**

委員長	〈高田〉	後藤	憲	二
副委員長	〈大分〉	岐部	和	久
	〈臼杵〉	赤嶺	竜	一
	〈宇佐〉	渡辺	賢	一
委員	〈国東〉	野田	忠	廣
	〈別府〉	須藤	祐	未
	〈大分〉	後藤	佳	織
	〈大分〉	後藤	靖	之
	〈大分〉	高山	鮎	美
	〈大分〉	宮本	吉	朗
	〈佐賀関〉	藤澤		浩
	〈津久見〉	大村	正	壽
	〈佐伯〉	長田	孝	治
	〈佐伯〉	疋田	寛	子
	〈三重〉	佐藤	勤	也
	〈竹田〉	志賀	勝	吉
	〈玖珠〉	白地	泰	憲
	〈日田〉	櫻木	弘	三
	〈中津〉	長谷川		郎
				詳

**建築士大分** 2012.3 No. 110

(非売品)

平成 24 年 3 月 1 日 印刷

平成 24 年 3 月 1 日 発行

編集／発行所  
社団法人

大分県建築士会  
〒870-0022

大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F  
TEL 097-532-6607  
FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社 大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

# 建築士

# おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0605	豊後高田市御玉 199	0978-24-0418
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別 府	874-0845	別府市大字鶴見字角田 3220-3 別府建築士事務所会館	0977-67-4488
本部・大分	870-0022	大分市大手町 2-2-7 田原ビル 2F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市大字佐賀関 3068 高島建設(株)内	097-575-0116
臼 杵	875-0082	臼杵市稲田中尾下 1000-1 (有)みえのブロック内	0972-63-6695
津久見	879-2445	津久見市井無田町 3-9 津久見建設内	0972-82-5291
佐 伯	876-0813	佐伯市長島町 1-3-11	0972-23-6099
三 重	879-7131	豊後大野市三重町市場 2 区	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4412	玖珠郡玖珠町大字山田 291-2 サンホーム(株)内	0973-72-0023
日 田	877-0025	日田市田島 1-7-43-1F 102 (有)藤原設計内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館	0979-24-3597
宇 佐	879-0453	宇佐市上田 931-3 宇佐建設会館内	0978-33-3395
本 部	<a href="http://www.oita-shikai.or.jp/">http://www.oita-shikai.or.jp/</a>		
高 田 支 部	<a href="http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/">http://www2.ocn.ne.jp/~o-takada/</a>		
国 東 支 部	<a href="http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/">http://www18.ocn.ne.jp/~ksikai/</a>		
別 府 支 部	<a href="http://www.beppu-onsen.jp/">http://www.beppu-onsen.jp/</a>		
大 分 支 部	<a href="http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/">http://homepage2.nifty.com/k-shikai-oita/oitasibu/</a>		
佐 賀 関 支 部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/">http://www.d-b.ne.jp/sekisibu/</a>		
臼 杵 支 部	<a href="http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/index.html">http://www.bungo.or.jp/usk_shikai/index.html</a>		
津 久 見 支 部	<a href="http://www.bungo.or.jp/t-shikai/">http://www.bungo.or.jp/t-shikai/</a>		
佐 伯 支 部	<a href="http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/">http://www.geocities.jp/o_s_kentikusi/</a>		
三 重 支 部	<a href="http://www16.plala.or.jp/sok-mie/">http://www16.plala.or.jp/sok-mie/</a>		
竹 田 支 部	<a href="http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm">http://ww61.tiki.ne.jp/~kentikusi-ta/index.htm</a>		
玖 珠 支 部	<a href="http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/">http://homepage3.nifty.com/ken-kusu/</a>		
日 田 支 部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm">http://www.d-b.ne.jp/ken-hita/index.htm</a>		
中 津 支 部	<a href="http://kentikusi-nakatu.net/">http://kentikusi-nakatu.net/</a>		
宇 佐 支 部	<a href="http://www.d-b.ne.jp/usasikai/">http://www.d-b.ne.jp/usasikai/</a>		

**会員増強にご協力を！**

～会員二人で、一人の入会勧誘を～  
目標 3,000 人突破



社団法人 大分県建築士会